

体育を教える教員の職能 (資質能力)に関する研究

最終更新日：2015年8月28日

保健体育講座
教授
兄井 彰

キーワード

・体育科・保健体育科 ・職能(資質能力) ・研修 ・キャリア

研究シーズの説明 (私は、このような研究に取り組んでいます。)

近年、教育現場において教員の資質能力の向上が求められています。中央教育審議会教員の資質能力向上特別部会が「教職生活の全体を通じた教員の資質能力の総合的な向上方策について(審議のまとめ)」を2012年5月15日に公表し、現職並びに新任教員の資質能力の向上について改善策を明確に示しました。このように現職教員のキャリア形成や指導力不足教員の専門的力量的形成・向上など、「教員の質」をいかに確保するかが学校教育の質的向上のために喫緊の課題です。この「教師の質」を確保するためには、教員として求められる力はどのようなものであるかを明らかにしておくことが今後の具体的な改善方策を考える上で重要と考えられます。

しかし、各教科を教える上で必要とされる教員の職能については、具体的にその内容が示されてきていません。体育についても同様で、知識だけでなく、運動技能を学習内容とする教科であるため、他の教科と異なる独自の職能が存在すると考えられます。

このような現状を踏まえ、体育を教える教員の職能について、小学校、中学校及び高等学校で優れた実践を行っている教員に対してインタビュー調査を行い、その構造と発展過程について比較・検討し、その全体像を明らかにする研究を行っています。加えて、多くの中学校の保健体育の教員や教育大学の学生を対象にアンケート調査を行い、一般的に考えられている体育を教える教員の職能の内容についても明らかにしようとしています。

成果の応用可能性 (私の活動の成果は、このような分野にこのように貢献することができます。)

体育を教える教員の職能について、その内容と構造が明らかにできれば、教職10年経験者研修制度、教員免許更新制度、教職大学院制度など、教育政策の進行に伴って、整備されつつある教員の資質向上の研修システムにおいて、どのような研修を行うべきかという具体的な内容を示すことができると考えています。加えて、現職教員がこの職能を習得し発展させるために必要な方策はどのようなものであるかといった現在直面している課題に対してその解決の糸口を提示していきたいと思っています。

また、教員を目指す学生にどのような職能を学生時代に身につけさせておくか、さらに、学生がそうした職能やキャリア・デザイン力を身につけて行くためには、どのようなカリキュラムを考えて行かなければならないかといった現実的な課題についても一定の方向性を示すことができると考えています。

これまでの連携研究や社会貢献活動の実績

- ・平成26年度公益財団法人日本体育協会公認上級指導者養成講習会 福岡県体育
- ・第70回国民体育大会冬季大会福岡県選手団団結式「ワンポイントアドバイス」(スケート・アイスホッケー) 福岡県体育協会・平成26年度小郡市体育協会主催指導者講習会 小郡市体育協会
- ・平成27年度北九州市立教育センター体育科・保健体育科研修